

## 筑波第一小学校跡地の利活用に関する サウンディング型(対話)市場調査実施結果の概要

### 1 実施期間

実施公表 令和7年（2025年）6月17日(火)  
現地見学 令和7年（2025年）6月25日(水)～8月8日(金) ※希望者のみ  
対話期間 令和7年（2025年）8月18日(月)～令和7年8月22日(金)

現地見学参加事業者数 3者  
サウンディング（対話）参加事業者数 4者

### 2 実施概要

筑波第一小学校跡地の利活用にあたり、対話による事業者からの聞き取りを行い、つくば市都市計画マスタープランや地域のニーズ等を踏まえた事業アイデア、校舎解体及び体育館改修についての意見等を確認し、市場性を把握するために行いました。

#### (1)事業アイデア

マルシェ（朝市）、スポーツ合宿等の宿泊者向けに体育館貸出、グランピング施設、地域再生文化拠点としての美術館、農地付き別荘及びオーナー制果樹園という事業アイデアがありました。

#### (2)事業方式

事業者が長期に土地を借用し、建物（体育館、校舎）を改修、整備して事業運営を行うという民営方式と、市の施設や市が出資する会社等による運営に加わるという方式（公営）の2種類の意見がありました。

#### (3)校舎の解体、体育館の改修

2事業者から、耐震基準を満たしている校舎（1棟）は解体せず、改修して活用したいとの意見がありました。ただし、校舎の改修や解体等にかかる費用を精査してからでなければ事業性は評価できないとのことでした。

#### (4)地域への効果

地域住民が望んでいる集会スペースとしての利用については、詳細は今後の調整によるものの、いずれの事業者も対応可能であることが確認できました。

交通渋滞への影響については、大規模な集客施設でないことからいずれの事業者も問題ないと考えられるとの意見がありました。

### 3 今後の対応

今回の調査においては、参加事業者数などから、とりわけ事業者による民営の利活用の市場性を十分に把握できていないと考えられるため、新たな調査を追加で実施することを検討します。このほか、今回の調査結果を踏まえた地元との意見交換や有識者を交えた利活用方針の検討を行う予定です。

以上